

さんぽ保健師コラム

(2021年 神無月号)

はいたい！産業保健専門職（保健師）の千葉です。

10月は（10月1日～7日）は「全国労働衛生週間」です。今年のスローガンは「向き合おう！ ところとからだの健康管理」です。皆さんの職場でも健康管理や職場環境改善に関する講習会やポスター展示など労働衛生に関する意識を高める取組をされていたかと思います。

さて、当センターでは9月17日に琉球大学病院と共催で「治療と仕事の両立支援・職場とHIV/エイズ」のWEBセミナーを開催しました。

HIV/エイズの治療法は飛躍的に進歩して多くのHIV陽性者は健康を保っています。またHIV陽性者は20代～50代の働き盛り世代に多く、多くの人は就労しています。

HIVの感染力は弱く一般の職場では感染することはありません。しかし一般的な理解が進んでいないことから病名を開示していない人が多く、働きにくさを抱えている方も多いのが現状だそうです。今回のセミナーではHIV/エイズに関する正しい知識を持ち誰もが働きやすい職場づくりを考えることを目的に、琉大病院の感染症内科医師、HIVコーディネーター看護師、ソーシャルワーカーを講師に迎えてそれぞれ専門分野からHIVの症状や治療に関する正しい知識、沖縄県の感染者数の現状や就労についてのお話をして頂きました。

参加された方の感想から一部抜粋します。「HIVエイズについて初めて知ることも多かった。自分の意識が変わりました。」「今後当社内で同様の案件があった際に、自信をもって両立支援に取り組めると思いました。」「このセミナーを受けるまで少なからず間違った知識（偏見）をもっていました但那知識の間違いに気づきました。」等。

HIV患者さんの就労上の配慮は内服と1～4か月に1回の定期的な受診継続の確保だそうです。治療が中断されることが無いように、職場で正しい知識を持つことはより良い職場環境への第一歩です。

沖縄県ではHIV感染症の症状や治療などの正しい理解を目的に「出前研修」を実施しています。

今回のセミナーを共催した琉球大学病院感染症診療コーディネーターが窓口になっています。

https://www.ryukyu-med1.com/hiv_hospital/

琉球大学病院HIV診療チームYouTubeチャンネル📺もぜひご覧になってみてください！

☆HIV/AIDSについて <https://youtu.be/MjRjJbilSx4>

(沖縄産業保健総合支援センター 産業保健専門職 千葉 千尋)